

事業所名

児童発達支援事業所 パレット

支援プログラム

作成日

2025 年

12 月

6 日

法人（事業所）理念		「感謝と思いやり」のある「自主的な行動」のとれる子に ・一人ひとりの育ちを大切に乳幼児期の支援を通して、保護者が子育ての喜びを感じられるように支援し、地域に根ざす開かれた事業所を目指す ・子ども、保護者、地域、職員すべてが『縁ができて良かった』と思える心温まる事業所を目指す			
支援方針		・発達支援を必要とする就学前児童とその保護者を対象に、児童一人一人に合わせた良質で安全な療育を提供し、児童の将来の自立を見据えた療育・支援を行うことを目的とする。 ・小学校入学前の未就学児を対象に、個別・小集団での活動を通して、生活していく上で必要な力（運動、ソーシャルスキル、生活動作、言語、感情・心理面）を伸ばしていけるよう支援する			
営業時間		9 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無	・事業所、認定こども園（みみょう保育園あり なし 各園）の移動に送迎を実施	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・生活リズムの安定 ・食事、更衣、排泄など日常生活に必要な基本的技能の獲得、支援 ・環境設定（視覚支援や構造化）		・基本的な生活スキルの向上 ・健康状態の把握	
	運動・感覚	・色々な感覚運動遊びの中で体を動かす活動 ・親しみ、楽しめる様々な活動 ・指先や道具を使った活動		・一人ひとりに合った机や椅子の提供 ・感覚の感じ方（敏感、鈍感）への配慮 ・達成感や意欲を育む	
	認知・行動	・個々にあったスケジュールを提示・確認し、見通しを持って切り替える力をつける。 ・集いや活動の中で日付けや天気・活動内容を把握し、数字や時間の概念を学ぶ（数の認知、空間の認知、自己能力の認知） ・認知課題（マッチングやパズルなど）の机上課題 ・絵カード（イラスト・写真など）や手順の掲示、タイマーなどを使用した視覚支援		・適切な行動への対応の支援 ・小集団遊びに置ける認知の偏りの配慮	
	言語 コミュニケーション	・言葉だけでなく絵カード（イラスト・写真など）や身振りなどを使用したやりとり ・PECSを使い、自発的なコミュニケーションの力をつける ・認知、コミュニケーションの課題（言葉の理解や表現する力、語彙力などを高める課題や関わり）		・社会の中で暮らしていくためのスキルの獲得 ・自分の思いや相手への伝え方など、場面や相手の状況に応じた適切なやりとり	
	人間関係 社会性	・専門的な知識を持った保育士による1対1の個別の関わり ・小集団での制作やサーキット、ゲームなどの活動 ・他者との関わりを深める活動やソーシャルスキルトレーニング、問題対処スキルを育てる関わり		・社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得 ・適切な人間関係の形成 ・ルールや言葉を理解する力や他者と強調する力を養う	
家族支援		・個別の面談等の実施 ・保護者、家族のレスパイト ・事業所からみみょう各園までの送迎 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助	・モニターによる参観 ・きょうだいに対する相談援助	移行支援	・認定こども園や保育園、幼稚園、他事業所、療育センター、各施設との連携を図る
地域支援・地域連携		・担当者会議への参加 ・みみょう各園への訪問支援、会議への参加 ・南区の自立支援協議会への参加	・障害児相談支援事業所との連携	職員の質の向上	・事業所における研修会（虐待防止、身体拘束、事故防止等）や勉強会の開催 ・定期的な事例検討会 ・外部の研修会への参加
主な行事等		・季節ごとの行事（お正月、節分などに関する遊び） ・避難訓練（地震、火事、不審者など）			